

平成27年度5月 定例市長・市政記者懇談会の結果について

日時 平成27年4月28日（火）午前9時50分～10時30分

場所 市役所2階第2委員会室

出席 市政記者クラブ12社

会見内容

1. 話題提供（6項目）

1. プレミアム付商品券の概要について

- プレミアム付商品券は、政府の地方創生の交付金を活用し釧路地域での消費拡大を目的に、「地域消費喚起型」「生活支援型」の2本立てで実施します。「地域消費喚起型」としては、釧路商工会議所、阿寒町商工会、音別町商工会及び釧路市商店街振興組合連合会の4者で構成する「釧路市消費拡大推進委員会」が事業実施主体となり、市が、この団体へ補助する形で、「釧路市プレミアム付商品券」という名称で販売します。
- 商品券は25%のプレミアムを付け、1冊1万円で1万2,500円分の買い物ができ、発行総額は8億7,500万円、発行冊数は7万冊としています。連休明けから、商品券の予約申込の受付が始まり、7万冊に達し次第受付が終了となります。
- 商品券の利用期間は、7月1日から12月31日までの6か月間で、市商連加盟店やスーパー、市内大型店などでの利用が考えられており、現在、実施主体である「釧路市消費拡大推進委員会」により準備が進められているところです。このプレミアム付商品券の発行にあわせまして、「生活支援型」として、2つの事業を実施します。
 - 1つは、子育て支援事業として、多子世帯（18歳未満が3人以上属する世帯）がプレミアム付商品券を購入する際、さらに購入額を減ずる（1,000円割引）ための証明書を発行し、対象世帯に送付します。
 - もう1つは、住民税が課税されていない世帯に対する支援として、約4万世帯に、2,000円の商品券を交付（6月下旬予定）することとしています。
- 市では、これらの商品券の発行により、地域内での消費拡大を図るとともに、地域内の販売店や商品の魅力を再発見し、商品券をきっかけとした、地域消費のリピーター化促進など、域内循環拡大の一助になることも期待しています。是非、多くの方々に市内の販売店へ足を運んでいただき、商品券を積極的に利用していただければと思います。

2. SAM氏（TRF）の観光大使就任について

- 釧路市観光大使は、釧路市の知名度及びイメージの向上を図り、本市の観光振興に寄与する目的で任命するものであります。本市に愛着を持ち、多岐にわたって当市の魅力や観光情報等をPRすることができる方を対象とし、釧路市と釧路観光コンベンション協会、NPO阿寒観光協会まちづくり推進機構の3者による選考手続きを経た上で任命いたします。
- この度、釧路市は人気アーティスト「TRF（ティーアールエフ）」の一員であり、現在も芸能界で幅広く活躍しているSAM（サム）さんを、4組目の観光大使として任命いたします。
- SAMさんにつきましては、平成22年2月に、私のところに訪問いただいて以来、これまで5回にわたるダンス活動を通じて、本市への健康推進及び交流促進に貢献いただいております。今後においても、ダンス活動等を通じて、当市のPRやイメージアップ、観光PRに寄与することが期待されることから、この度、観光大使任命するものです。
- 任命式及びトークショーについては、5月23日（土曜日）午後1時から、釧路フィッシャーマンズワーフMOO 5階の多目的アリーナで行われ、合わせて午後2時からワークショップ「DANCE（ダンス）で脂肪を燃やし尽くせ！」も開催する予定です。
- SAMさんにおかれましては、釧路市の観光大使として、一層の情報発信と観光PRに努めていただけるよう、期待しているところであります。

3. 大阪・名古屋プロモーションの実施について

- 本年も伊丹線・中部線の季節便運航に伴い、航空路線の利用と釧路への来訪客の増加を図る目的から、大阪・名古屋プロモーションを実施する運びとなりました。
- 初夏に実施するこのプロモーションは「涼しくしろ」をPRする絶好の機会です。ことから、今回も、釧路観光コンベンション協会が中心となり、市（観光振興室、水産課、市民協働推進課）をはじめ、観光関係機関（釧路商工会議所、釧路空港ビル、釧路観光連盟、水のカムイ観光圏、釧路空港利用整備促進期成会）と連携し、官民一体で、航空会社各社とタイアップして長期滞在や地域観光のプロモーションを行います。
- 昨年度との相違点として、大阪地区のPRを充実し、6月6日（土曜日）～7日（日曜日）の2日間、大阪府内で住みたい街ベスト3に入る人気のベッドタウンと

して、週末には約4万人の買い物客や、鉄道・モノレール・バスのターミナルとして1日の乗降客約16万人が利用する北大阪急行電鉄、千里中央駅前「せんちゅうパル」催事スペースにおいて、ANA伊丹空港線のPRと観光物産プロモーションを釧路市単独で実施します。

- また、伊丹空港では、6月5日（金曜日）～7月31日（金曜日）までの約2か月間、ANA搭乗口周辺の制限区域内において、「涼しくしろ」の大型パネルを設け、伊丹線利用や釧路地域への誘客促進を図ることを目的に、観光PRブースを開設します。
- このほか、名古屋地区でも5月9日（土曜日）～10（日曜日）の2日間、昨年同様、「金山総合駅の中央コンコース」催事スペースで帯広市との合同によるJAL中部線のPRと観光物産プロモーションを実施します。
- 今後におきましても、観光関係機関や航空会社各社と連携し、より一層、釧路地域の魅力を発信していくとともに、航空会社に対しましては、来年度の運航継続はもちろん、毎日運航や運航期間の延長など、釧路空港の利便性向上に向けた要請活動を行っていきたいと考えております。

4. スタジオジブリ『思い出のマーニー』監督 米林宏昌原画展

- 昨年公開されました、スタジオジブリ作品「思い出のマーニー」につきましては、美しい湿原の風景が描かれるなど、その舞台が北海道の道東を想起させるものでありましたことから、市としても関連イベントを実施するなど、いわば「勝手連」的に応援してきたところであります。
- そしてこのたび、既にみなさまご案内のところではございますが、5月16日（土曜日）から7月5日（日曜日）にかけて、米林宏昌（よねばやし ひろまさ）監督の原画展を開催させていただく運びとなりました。
- ご案内のとおり、米林監督は、「思い出のマーニー」以外にも「千と千尋の神隠し」「ハウルの動く城」「崖の上のポニョ」などで原画を担当し、「ゲド戦記」では作画監督補として作品を支え、初監督作品となった「借りぐらしのアリエッティ」では、2010年度日本映画の観客動員数第1位を記録し、宮崎駿氏にもその力を認められた才能の持ち主であります。
- この展覧会では、マーニーをはじめ、アリエッティなどスタジオジブリの各作品の美しきヒロインたちや、米林監督が自ら描きためていた未公開の原画を一挙公開します。

- また、「思い出のマーニー」の舞台・道東での開催ということで、雄大な湿原や海岸線といった映画の背景画も、釧路会場限定で展示される予定です。また、会場内には皆さまで写真撮影できるコーナーも用意されると聞いております。
- さらに、特別企画として、開催初日の5月16日（土曜日）午前11時から、スタジオジブリのスタッフによるギャラリートークを行い、ジブリスタッフならではの製作の裏側などをお話しいただくほか、6月7日（日曜日）には、米林監督にはるばる釧路までお越しいただき、美術館のショップにて画集またはDVD・ブルーレイディスクを購入された方限定で、サイン会を催します。（午前11時と午後2時から、各回25名 計50名限定）
- 以上、あらためて原画展について紹介をさせていただきましたが、原画展の開催に合わせた市独自の関連イベントも企画しておりまして、映画の中で象徴的な舞台となった「湿っ地（しめっち）」にちなみ、日本で初めてラムサール条約に登録された釧路湿原の魅力をさまざまな角度から知っていただくための機会として、ウェットランドセンターの菊池事務局長による「お話し会」を、3回シリーズで開催します。日時は原画展開催直前の5月14日（木曜日）、開催期間中の6月20日（土曜日）、7月4日（土曜日）のいずれも午後1時30分から、場所は生涯学習センター5階のハイビジョンシアターを予定しております。ぜひ多くの方にご来場いただき、湿地の魅力について学んでいただければと思っております。このほかの関連事業につきましても、決まり次第、皆さまにご案内させていただきたく考えております。
- 全国にファンのいらっしゃるスタジオジブリ作品の原画展開催ということで、ぜひこの機会に、市内のみならず道内他地域、さらには道外からもたくさんの方々に釧路にお越しただいて、物語の舞台となった道東、そして「釧路」の魅力に触れていただきたいと願っております。

5. 「インフラ保全技術向上研修会」の開催について

- 現在、「都市経営」の考え方のもと、域内循環や人材育成などの取り組みを進めています。そうした取り組みの一つとして、建設業に携わる人材育成、域内循環を高めるため、橋梁やトンネルの点検等の保全技術の向上を目的とする「インフラ保全技術向上研修会」を開催します。
- 第1回の研修会は5月29日（金曜日）に開催し、国や公的機関から講師を招き国の取り組みや道路法などの改正趣旨、各点検要領の概要等の講話を予定しています。2回目以降については、橋梁点検に必要な専門技術の習得を図るとともに、実

地研修として、既存の橋梁を点検し、その成果の取りまとめなどを行います。

- 研修の対象は、橋梁の点検や診断等に関する技術力を高めるという趣旨から、市の技術職員のほか、域内循環の観点から、市内の土木設計業者や、橋梁補修に携わる土木業者の技術者にも参加を募り、業務に必要な知識や技術講習を行うこととします。
- また、第1回の研修会では、経営者の方々にも参加を呼びかけ、受注に関する意識の向上などを促すきっかけづくりとしたいと考えています。
- 今年度は、全体で4回の研修会の開催を予定していますので、2回目以降も詳細が決まり次第、ご案内させて頂く予定です。

6. 第30回記念大会 釧路湿原全国車いすマラソン大会の開催について

- 「釧路湿原全国車いすマラソン大会」は、毎年度多くの市民やボランティアの方に参加していただいております。障がいのある方との交流の場として、また、障がい者スポーツや障がいへの理解促進を図っているものであります。
- これまで、本大会は、札幌市の「北海道マラソン大会」と同一日となる、毎年8月の最終日曜日に開催してきたところであります。
- 平成27年度より、北海道の障がいのある方のマラソン大会であり、札幌市で毎年6月に開催されていた「はまなす車いすマラソン大会」が「北海道マラソン大会」と合同開催されることから、北海道より、「はまなす車いすマラソン」と「釧路湿原全国車いすマラソン」が同日開催となった場合、両方の大会に参加している選手（平成26年ハーフマラソン参加者13名）の出場機会を奪うなどの影響を極力及ぼさないことなどを考慮し、釧路市の開催日の調整について要請を受け、このことから、本年度は、7月19日（日曜日）に変更することにいたしました。
- 開催日の変更については、これまで参加されてきた選手をはじめ、関係者の皆様にもご案内させていただいておりますが、今後、様々な機会をとらえ周知を図るとともに、より多くの選手に参加していただけるよう努めてまいります。なお、募集期間は、6月5日（金曜日）までとなっております。
- 今年は、第30回の記念大会として、20回以上参加している選手の表彰や選手・ボランティア等が参加する交流リレーなどの各種イベントを実施するとともに、釧路の特産品が当たる大抽選会を行うなど、記念大会として盛り上げてまいります。

- 7月19日（日曜日）の開催に向けて、多くの市民の方のご協力をいただきながら、釧路の爽やかな季節に選手をお迎えし、素晴らしい大会となるよう準備を進めていきたいと考えています。

2. 質疑要旨

(質問)

- ・ インフラ保全技術向上研修会についてですが、今年度初めての事業ですか。インフラの老朽化を受けて実施するものですか。

(市長)

- ・ 初めて実施するものです。老朽化に対応し、インフラ施設の長寿命化を図るための保全技術の向上を目的としています。点検をしていくための資格者が道内には札幌にしかいません。釧路に技術者がいないため、域外に依存している状況です。地元でしっかり点検等の保全を行っていくという観点で、保全技術向上に向けて研修していくということになります。

(質問)

- ・ プレミアム商品券は25%のプレミアムがつくということですが、これはどのように決まったのですか。また、道内他都市と比較した場合、大きいのでしょうか、小さいのでしょうか。

(市長)

- ・ 25%のうち5%は道負担分で、市の分で20%のプレミアムとしています。

(事務局)

- ・ 管内の町村では釧路市、釧路町、弟子屈町は25%のプレミアム、管内他の町村は30%、札幌10%、帯広15%といった状況で、自治体により異なります。

(質問)

- ・ 涼しい釧路のプロモーションについて、釧路単独で行う大阪での内容を教えてください。

(事務局)

- ・ 基本的にはPRブースを設ける予定です。パンフレット配布、物販ブースなど関係機関と連携して実施します。また、エージェントや航空会社を訪問するほか、マーメイドくしろも一緒に地元マスコミを訪問しPRする予定です。

(質問)

- ・ 「思い出のマーニー監督米林宏昌原画展」について、写真撮影の際の制限がありますか。

(事務局)

- ・ 提供画像はご用意できますが、トリミングは不可となります。また、利用の際に

はクレジットをつけていただく必要があります。TV取材は可能ですが、告知の画像を使われる場合はクレジットをつけることと、スタジオジブリ様の監修が必要になります。館内の取材を行う場合、背景として原画が映ることと、造作物の撮影は可能で、原画の一枚撮りは制約がかかりますのでご理解ください。

(質問)

- ・ 釧路市観光大使のこれまで任命した3組を教えてください。

(市長)

- ・ 漫画「僕等がいた」の主人公のお二人、HEAT VOICE (ヒートボイス) さんのお二人、桜木紫乃さんです。

(質問)

- ・ SAM さんのイベントで、他に今年度予定されている事業がありますか。

(市長)

- ・ SAM さんには年1回ですが、過密なスケジュールの中、来釧いただいているところです。今後は観光大使として全国にPRしていただきたいと考えています。

(質問)

- ・ 釧路市防災庁舎の前の廃道スペースはどのようになりますか。

(市長)

- ・ 広場等で有効活用したいと考えておりますが、まだ決定していません。今回の選挙においても投票率向上に向けて本庁舎前庭でイベントが行われましたが、同様にさまざまな活用ができればと考えています。

(質問)

- ・ 本庁舎内は省エネ対策で電灯の間引きをして少々暗い気がしますが、完成する防災庁舎の中はどうなっていますか。

(市長)

- ・ 今日これから、内覧会ですので是非、ご覧いただければと思います。市民の方の利便性の向上のための窓口も設けます。